



2022年5月13日

各位

会社名 日本精機株式会社
代表者名 代表取締役社長 社長執行役員
佐藤浩一
(コード番号7287 東証スタンダード)
問合せ先 事業管理本部 財務統括部 経理部
シニアマネジャー 金子基樹
TEL (0258) 24-3311

個別業績の前期実績値との差異及び減損損失の計上に関するお知らせ

2022年3月期(2021年4月1日~2022年3月31日)の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2022年3月期の連結決算(IFRS)につきまして、当社及び連結子会社において減損損失を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 個別業績の前期実績値との差異について

(1) 2022年3月期通期個別業績値(2021年4月1日~2022年3月31日)と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	百万円 99,732	百万円 △5,674	百万円 △808	百万円 △5,489	円 銭 △95.15
当期実績(B)	111,248	△5,049	△1,983	△4,335	△71.88
増減額(B-A)	11,515	625	△1,175	1,153	—
増減率(%)	11.5	—	—	—	—

(2) 差異の理由

当期においては、前期における新型コロナウイルス感染症の影響が縮小し、海外向け製品、部品の売上が増加したことや円安の影響を受け増収となりました。また、売上増加に伴い営業利益は増加したものの、当社の英国における連結子会社であるユーケーエヌ・エス・アイ社に対し、貸倒引当金の繰り入れを2,185百万円行ったこと等により経常利益は減少いたしました。加えて前期は繰延税金資産の取崩しがあったため、当期純利益は前期に比べ増加いたしました。

2. 減損損失の計上について

当社事業における有形固定資産及び無形固定資産について、国際会計基準(IFRS)に基づく減損テストを実施し、将来の回収可能性を検討した結果、2022年3月期の連結決算において、ユーケーエヌ・エス・アイ社の有形固定資産及び無形固定資産について2,387百万円、また当社及びその他の連結子会社の有形固定資産及び無形固定資産について703百万円、総額で3,090百万円の減損損失を「その他の費用」に計上いたしました。

以上